

町に望むこと

一人一人の要望

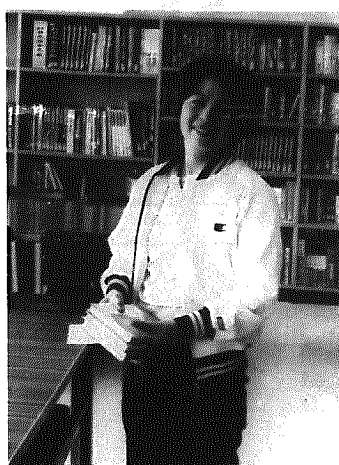


高橋 謙さん(上山田2・79歳)

町に望むことというよりわたしたち一人一人が考えてほしいことがあります。義務と権利です。税金は平等にかけ必ず納める。選挙はきれいにし有権者は必ず投票する。統一地方選が終わり公平な税金と正しい選挙が何より民主主義の原点であると思います。戦争から生きて帰ってきた者として思うことです。



渡辺悦子さん(上山田4・30歳 農業) 山田地区は開発が進み人口も増えていきます。発展の陰に不安もあります。農家としては農地の減少、母親として気になることは子供の事。山田保育所はいいのですが山田小は児童数が増加してもう限界です。根本的な対策がどうしても必要です。また、交通量も増えていきますから交通安全もしっかりと。



小針和美さん(鳥原大明・主婦) バドミントンクラブで週二回総合体育館を使い、帰りによく図書館に利用します。体育と文化施設が隣で便利です。施設が出来維持管理が大変なのかしら、昨年からは体育館に使用料ができました。ある程度の受益者負担はやむを得ないかもしれません。住民が納税者であることも考えて使用料を決めてください。

あなたと町をつなぐ
広報

くまがさき

1987
5
No. 284



鹿島喜美子さん(柳作・主婦)

教員を退職し何かやりたいと思ひ、大正琴のボランティア活動をしています。老人会や施設で演奏したり、地域のコミュニティ活動の一つと思ひ公民館で教えたりしています。町は昨年からはボランティアの育成を始めたと思います。これからは高齢化社会です。社会福祉や地域づくりに力を注いでください。



堤勝さん(上山田3・41歳・会社員) 野球シーズン到来。わがオーライズも木場野球場に帰ってきました。平日の昼間に練習がたいですね。ただ、トイレをきれいにしてほしいし、グラウンドの整備を望みます。トンボやくわを用意してもらえれば、わたしたちで整備したいと思ひます。町の施設の大半が南部にありますから、バランスを考え北部の方にも造ってもらいたい。



保刈浩さん(黒鳥4・27歳・農協) 今年から水田農業確立対策が始まり、また後継者や野菜作りなどたくさんの課題が農業にあると思ひます。「しかたなくって」という言葉が出がちですが、今のうちに長期的な展望が必要で、農業は農家と農協と役場の関係が密接ですから、意見を出し合ってがんばらなければ、町も今以上に力を入れてほしい。

一つ一つ実現

特集・実施計画